

科目名	健康医療科学研究方法論1			ナンバリング	ASF240	授業形態	講義
対象学年	1 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	楊箬隆哉	担当教員					

授業の概要	作業療法に求められる、科学的な根拠(エビデンス)を積み重ねて治療効果を実証していく方法論について学修する。この授業科目では、研究とは何か、研究の必要性、健康医療科学に必要な文献検索の方法について学び、科学論文の講読を通して、研究に対する知的興味、目的意識、動機を研ぎ澄ませ、かつ絞っていく過程を学習する。また、統計解析の基本と健康医療科学で良く用いられる各種統計方法について学ぶ。						
到達目標	1. 作業療法士にとって、研究をする意義とは何か、必要性がどこにあるのか理解できる 2. 具体的な文献検索の方法がわかる 3. 科学論文を講読して内容を理解することができる 4. 統計解析の基本的考え方がわかる						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	他の授業や、演習・実習を振り返って、作業療法の中でも、自分がどの領域のどんなところに興味があるのか、主体的に考えてみると良い						
ディプロマポリシーとの関連	【健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー】						
	1	広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
	2	地域に住む孤立しがちな人びとや、心身および生活上の障害を抱えた人びとの個別な健康・医療課題を的確に把握し、子どもから高齢者に至るまでその人らしく生活できるように、その生活支援や就労支援を行うことで、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	3	健康・医療に関わる課題を解決するために、作業療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた作業療法技術を駆使して生活能力の再獲得への支援ができる。					
	○	4	健康・医療に関わる作業療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的且つ能動的な学修ができる。				

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 作業療法士にとって、研究をする意義とは何か、必要性がどこにあるのか説明できる 2. 系統的に文献検索ができる 3. 科学論文を講読して、その内容をまとめることができる 4. 統計解析の基本的考え方が説明できる	1. 標準的な到達レベルに達しており、さらにキーワードを3つ決めて20篇以上の文献を検索して、分類できる 2. 科学論文を講読して、その内容をまとめ、発表できる 3. 簡単な統計を用いて、統計学的解釈を加えることができる

成績評価観点	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
評価方法							
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	●	●			●		40%
宿題・授業外レポート	●	●			●		30%
授業態度・授業への参加			●	●			30%

課題、評価のフィードバック	manab@IMUを使用するなどして、個別にフィードバックを行う。
---------------	-----------------------------------

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	はじめに	学問と研究について総論的内容に触れ、研究の意義、必要性、倫理、研究の歴史、研究方法の種類について学習する	
	第2回	実験的研究	実験的研究の特徴をわかりやすく示し、操作的定義、妥当性と信頼性など、実験的研究に欠かせない概念について学習する	
	第3回	調査研究と症例研究	フィールドワークを用いた質的研究や、質問紙による調査と面接による調査方法について学習する。また、社会調査で何がわかるか、なにが誤解されやすいのか、わかりやすく解説する	
	第4回	文献検索と文献の講読1	文献検索の必要性について解説し、文献検索の具体的方法と文献の整理の仕方について学習する	
	第5回	文献検索と文献の講読2	文献から何を得るか、文献をどう読むか、など、文献の実例を用いて具体的に学習する	
	第6回	医療統計の基本	ばらつきと代表値の概念、パラメトリックとノンパラメトリックについて、ものさし(統計尺度)の種類など基本的な統計の概念を学習し、比較することについて考える	
	第7回	研究の妥当性と信頼性	研究の妥当性とは何か、信頼性とはどのように考えるかなどについて学習し、良質な研究を行うための基本を学習する	
	第8回	新しい研究方法	比較的新しい研究方法論として注目されている混合研究法について、文献に基づいて学習する	
	試験	なし		
授業の進め方		講義とグループ学習により進めます。		
授業外学習の指示		授業の中で、授業外学習として文献検索の指示をします(予習90分、復習90分) (授業外学習時間: 毎週 180 分)		

教科書	加藤象二郎, 大久保堯夫 編著「初学者のための生体機能の測り方」 第2版, 日本出版サービス ISBN:4-88922-118-2, 発行年月:2006. 9, 3,240円(税込)
参考書	川村 孝 著「臨床研究の教科書」 医学書院, 4,536円, ISBN978-4-260-02497-6 市原 清志 著「バイオサイエンスの統計学」 第2版, 南江堂, 5,033円、ISBN: 978-4-524-22036-6
参考URLなど	授業の中で、提示する
その他	特になし